

三鷹まちづくり総合研究所

「オープンソース・ソフトウェアを活用した地域活性化に向けた研究会」

(第2回議事録要旨)

日時：平成25年8月23日(金)午後4時～

場所：三鷹ネットワーク大学

研究員：内田治(リーダー)、宇山正幸(サブリーダー)、高階豊彦(サブリーダー欠)、

大朝摂子、土合成幸、田口智英、新藤豊、宇山陽子、後藤省二、大高俊彦

ワーキングチーム：齊藤大輔、渡邊正人、小俣大輔、出田健二

事務局：三鷹市企画経営課、三鷹市立図書館、三鷹ネットワーク大学

1. 開会のあいさつ

2. 議題

(1) 三鷹市行政システムの Ruby システムの導入の検討等について

○土合研究員より、三鷹市行政システムの調達についての基本的な考え方のお話があった。

(2) 市内事業者の技術力向上及び体制づくりの検討等について

○出田健二氏より、三鷹市が出来ることとして、技術的支援と営業支援が提案された。具体的には、松江市を参考にした、官民をつなぎ、いずれは独立した団体となることが想定された中間組織(ラボラトリー)をつくることなどがあげられた。

○Ruby システムを導入することで、三鷹市としてどのような姿の展開を目指していくか、という認識を共有し、そのイメージを広くアピールしていくことが、改めて確認された。

3. 意見交換